三ツ石だより

編集・発行
島根あさひ社会復帰促進センター

問い合わせ先
ご意見・ご感想はこちらまで
〒697-0492 浜田市旭町丸原380-15
Tel.0855-45-8171（庶務課）

平成23(2011)年
6/1
第8号

ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
センター長 松田 淳

本年四月から、旭町の住民となりました。出身は松江市であり、父の勤務の関係で幼少期浜田市にも居住していたこともあって、大変懐かしく思うとともに、故郷島根に戻れたという喜びで一杯です。

新緑がまぶしい季節となり、ホトトギスの声がもうすぐ聞こえるものと心待ちにしています。これも、自然豊かな旭町ならではと野鳥観察や山菜採りを兼ねた散策を大いに楽しもうと思っています。

ところで、三ツ石だより創刊号の特集で「不便だなと思うこと」にコンビニ等の二四時間営業の店がない、街灯が少ないなどの意見がありましたが、これらは逆によい点でもあることが「住んでよかったこと」の意見に現れています。東京では最近まで計画停電が行われるなど、便利さを求めることの是非や不夜城とまで言われるネオン等が必要なのか再検討を求められています。震災対策は当センター！地域が一体となって行うべきこととして、不便さよりも自然の豊かさに感謝し、満喫しています。どうぞよろしくお願いします。

構外作業の春夏秋冬

―山ノ内梨園―

現在、当センターでは、２つの構外作業場で訓練生が作業を行っています。そのうちのひとつが山ノ内梨園です。現在、約１０名の人数で作業を行っています。今回は、山ノ内梨園での訓練生の作業状況について簡単ではありますが紹介します。

春

春に入ると梨の木には花が咲き始めます。花の中には、実を付ける花と実を付けない花があります。ここでの作業は実を付けない花や必要の無い新芽を取り除く作業です。これを摘蕾（てきらい）・芽かき作業といいます。そして５月頃に入ると果実がなりはじめます。果実の中でも、形が悪く、いらない果実は落としてしまいます。この作業を初めて行う訓練生にとってはかなり難しいようです。

秋

果実の収穫作業は夏から秋にかけて行われます。梨の種類によっては収穫時期が違います。

８月…新水、幸水、
　　ピオーネ（葡萄）
９月…豊水　１１月…愛宕

訓練生は収穫した梨を袋につめて、出荷準備を行います。なお、山ノ内梨園にて直売もされています。

夏

夏に入ると収穫のための準備作業に入ります。まずは園全体にネットを被せます。これは害虫や害鳥から防除するための作業です。その他では草刈作業や肥料を散布したりする作業があります。草刈作業は草刈機を使用して行います。使用に関しては、訓練生が指導員の指示・指導のもと安全に作業を行います。

冬

１１月の収穫が終了すると、すぐに来年に向けての作業が始まります。まず始めに行われる作業が剪定・誘引作業です。剪定・誘引作業とは、いらない枝を落とし、実をならす枝を棚にくくり付ける作業です。この作業は３月頃まで行います。冬の間は圃場の管理といった雑作業が主な作業です。冬は天候も悪く、積雪などで苦労しますが、訓練生も頑張って作業を行っています。

「手紙」で社会復帰の応援を

文通プログラム地域参加者募集

島根あさひ社会復帰促進センターでは、センターの訓練生と文通をしていただける地域の参加者を募集しています。

この文通プログラムは、旭地域にお住まいの延べ二一名の皆様の協力で、これまでに三回実施いたしました。

参加した訓練生から「更生の決意を固めることができた。」「受刑者ではなく、一人の人間として接してもらえたことが、とても嬉しかった。」「人のやさしさを学んだ。」など、社会復帰の大きな力となっています。

刑務所という社会から閉ざされた空間では、一般社会の地域住民の皆様の「普通の声」など知る由もありません。

訓練生が抱く社会復帰への不安の一つに「自分達は、一般社会の人にどう思われているのか、どうすれば社会に受け入れてもらえるのか。」という課題があります。

文通を通して、地域の皆様の率直なご意見を聞かせていただくことが社会復帰の第一歩となり、加えて皆様の日々の暮らしの出来事を教えていただくことで「普通の暮らし、普通の生活」の大切さを改めて認識する機会になるのではと思います。

皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

募集要領

【内　容】
月１回、ペンネーム（匿名）で４ヶ月間、訓練生と手紙のやり取りを行う。

【流　れ】
第１回目：互いの自己紹介
第2･3回目：身近な出来事や地域の出来事
　　趣味について　等
第４回目：文通を通しての感想

【対象者】
旭地域周辺にお住まいの成人の方
（島根あさひ社会復帰促進センター関係者は除きます）

【お申し込み・お問い合わせ】
文通プログラムについての詳細は、下記あてにお気軽にお電話下さい。

島根あさひ社会復帰促進センター
社会復帰促進部
電話　４５－８１７１（内線２２２１）
担当 長谷川・竹本

東日本大震災に際して

本年３月１１日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災された方々の１日も早い復興をお祈り申し上げます。

震災に伴い、多くの矯正施設が救援物資の提供を行い、３月２０日から２２日までの３日間、東京管区及び大阪管区並びに矯正局及び仙台矯正管区職員により被災地での炊き出しを行いました。

当センターからは、訓練生の非常食として常備していた非常食の中から、牛肉のすき焼き、鶏肉の旨煮、つくねと野菜のスープ、牛肉大和煮缶を被災地へ搬送しました。

庶務課及び処遇部門に募金箱を設置し、みなさんの協力により、義援金５８，２６０円を被災地へ送ることができました。

被災地では今でも余震が続き、原発による健康被害など予断を許さない状態が続いていますが、私達一人ひとりが被災された方々のために出来ることを考えて日々の生活を送りたいものです。

第三期 パピープログラム開始

「Ｂｏｗ ｗｏｗ！」「ワンワン」今年のパピーの鳴き声です。

三月二八日に八頭のパピーがセンターにやってきました。

かわいいさかりのパピーたちは早々と訓練生に引き渡され愛くるしく鳴いていましたが、今年のパピーの鳴き声はちょっと違います。今までどおり「ワンワン」と鳴く、神奈川、静岡生まれのラブラドールレトリバーの六頭と、なんと「Ｂｏｗ ｗｏｗ！」と英語で鳴くオーストラリア生まれのゴールデンレトリバーの二頭です。色も白・黒・黄色と様々で、三組の兄弟がそろいました。

盲導犬パピープログラムも今年度で三期目となり、八頭のパピーを四八名の訓練生で世話します。これから訓練生の愛情はもちろん、日本盲導犬協会の職員の皆さんやウィークエンドパピーウォーカーさんを始めとする地域の皆さんの愛情をたっぷり受け、立派な盲導犬になってくれることを願っています。

職員対抗 レクリエーション大会

本年二月二三日・二四日の両日、三ツ石館において、センター初となる職員レクリエーション（綱引き大会）を実施しました。

事前の練習もなく実施したため、どうなることかと心配でしたが無事終了することができました。

決勝戦は、処遇三区チーム（訓練室担当）対処遇夜勤一・四班合同チーム（若手職員）との対戦となりました。若手中心の夜勤班も善戦しましたが、ベテランのパワーで三区チームの優勝となりました。

次回以降も楽しい企画を考えて、職場が一体となって勤務できるようにしていきたいと思います。

汗と涙の ア・ラ・カルト

★ 浜田市西部杯春季大会
とき：H23.3.6　ところ：旭運動公園野球場
ＡＬＳＯＫ野球部 あさひイーグルス　０－４　バットボーイズ
ご声援ありがとうございました。
6月より始まる山陰中央新報杯に向けて、日々練習に励んでおります。

★ 第６５回 出雲陸上競技大会
とき：H23.4.16　ところ：島根県浜山公園陸上競技場
やり投げ　３位　ALSOK陸上部　山田

★ 広島矯正管区 管内矯正職員武道大会施設対抗試合
とき：H23.4.22　ところ：広島県立総合体育館武道場
【柔道】　対　広島刑務所　０－３　敗戦
対　鳥取刑務所　３－１　勝利
対　山口刑務所　０－４　敗戦
１勝２敗で予選リーグ敗退
【剣道】　対　広島刑務所　１－２　敗戦
対　山口刑務所　１－４　敗戦
０勝２敗で予選リーグ敗退

眼科外来診療予定

７月７日(木)　10:00～12:30
８月４日(木)　10:00～12:30
予約・問合先　0855-45-8166
(受付時間 平日 9:00～17:00)

平成２３年４月末日現在、当センターでは、訓練生 約1，７００名、盲導犬パピー８頭、馬２頭が生活しています。

訓練生の平均年齢は約４２歳です。

編集後記

平成二三年三月一一日午後二時四六分に発生した東日本大震災。繰り返しテレビで放送された被災状況は、どんな映画よりも衝撃的な現実であり、現在も、余震や原発付近の放射能漏れと大問題が続いております。

被災して亡くなられた方のご冥福と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

みんなで力を合わせ、この困難を乗り越えましょう。

（Ｙ・Ｙ）

＝ＳＰＣ会社紹介＝

ＳＳＪ株式会社

ＳＳＪ株式会社は、地元浜田市旭町を本店所在地として、平成１８年に大林組、綜合警備保障、グリーンハウス、日本電気、丸紅の出資により、島根あさひ社会復帰促進センターの運営を行うことを目的に設立された特別目的会社です。

社名はSocial Support Japanの頭文字をとってつけられました。

当社では、約５０名の社員が一丸となって、日々、訓練生の改善更生と社会復帰に向けた取り組みをサポートすべく、下記のような業務を担当しています。

① 施設の運営全般に関する官～民、民～民の調整
② 刑務作業の提供・技術指導・安全衛生指導
③ 職業訓練の企画・指導
④ 矯正教育の企画・指導
⑤ 入所時の面接調査や出所に関わる連絡調整等の分類事務支援
⑥ 訓練生の衣類の調達

ふるさとお国自慢 ～大分県

作業業務責任者
小野　巌

作業業務責任者の小野と申します。当センターへ着任してから約２年になります。

このコーナーを見ていただいた方が１人でも「おおいたに行ってみよう」と思って頂ければ本望です。

大分県と言えば温泉です。源泉数、湧出量共に日本一のバラエティあふれる温泉が県内各地に湧いています。別府には「別府八湯」と呼ばれる代表的な８つの温泉が市内全域に点在しています。また全国でも高い知名度と若い女性にも人気を誇る由布院温泉もあります。

温泉でくつろいだ後は、大分を食べる。豊予海峡の急流で育った関アジ・関サバ、意外と知られていないのが豊後水道で水揚げされるトラフグ。刺身を風味豊かな特産のカボス醤油で召し上がって下さい。また、代表的な郷土料理の一つである“だんご汁”（具のひとつである乾ししいたけは日本一の産地です）もご賞味を!!!

食べた後は、観る。雄大な自然の久住連山・原尻の滝や国東半島の仏教遺跡や石仏などの文化財の観光スポットがたくさんあります。

私は、現在広島市へ居住しております。プロ野球も開幕しましたが、広島カープには私の出身地（佐伯市）出身の監督・選手がいます。元監督の阿南準郎氏、現監督の野村謙二郎氏、廣瀬純選手（佐伯鶴城高校の時に私の甥と甲子園出場）是非応援をお願いします。小生、この三人の応援はしておりますがチームはGのファンです。

それでは、大分を代表するこのうたで失礼します。

♪♪春　高楼の花の宴♪♪

＃荒城の月ｂ